



## Information & 広場

シンリセットにまつわる気になるおはなし



### ■「シンリセット」の開発者

波動研究家 山梨浩利氏からのメッセージ



私たちの体は自律神経系の交感神経と副交感神経のバランスによって成り立っています。交感神経は車の機能で例えるとアクセル、副交感神経はブレーキと認識されています。昨今このバランスが正常に保てない人が増えています。世界的な感染症による混乱や、職場の人間関係や子育てのストレス、情報過多における脳疲労、スマート社会による様々なストレス等がその原因と言われています。この様な社会を生きる上で大切なのが“ゆるむ”ことです。交感神経のアクセルを副交感神経のブレーキで急停止させるのではなく、“ゆるむ”というアプローチでバランスを保ち、本来の自分らしさを取り戻そうというのが「シンリセット」です。

「シンリセット」のシンは、シンクロニシティのシンで、これは地球の脳波とも呼ばれる7.8Hzと人の脳波を共鳴させることを意味しています。新(シン・NEW)の意味も含めた新しいリラックス法で、これは従来のブレーキとアクセルのXY軸に、“ゆるむ”というZ軸を加えた3次元的なアプローチです。配合している複数の機能性原料と、微生物の発酵によって得られるバイオジェニックスを融合させることで実現しました。

飲むタイミングはいつでも結構ですが、ストレス過多の社会を生きる現代人は日中に飲むと、より一層効果を実感できると思います。心身共にゆるみ、余計な力が抜けることで脳は理想的な働きをしてくれます。愛用いただいている方からは「リラックスできる」「仕事の効率が上がる」「疲れにくい」「緊張しなくなつた」「イライラが激減した」「人を許せるようになった」「ゾーンの感覚に似ている」など様々な声が寄せられています。離婚を考えるくらい追い詰められていた女性はご主人のことが気にならなくなり、自然と笑いのある家庭に戻ったそうです。

人が自分らしさを保ちながら本来持っている能力を発揮する

今年末、父が86年的人生の幕を閉じました。危篤と連絡が入り、何度も病院に足を運び、その時と共にしました。父の側にいて声をかけたり、体をさすったり、髪を整えたりしながら過ごしました。やがて旅立ちのサインが現れました。口をぱくぱくしながら呼吸を始めたのです。いいよこの時が来たなと思いました。私は冷静になりました。「人のさいご」(今月の一冊を参照)を読んでいました。この時本人は「苦しみや痛みなどはありません。ただ静かに口をぱくぱくさせて呼吸をします。」やがて体の中の生命活動のスイッチが一つひとつ切れいくのが分かりました。見守る側は「もう少し…」という気持ちになりますが、次第に「ありがとう」という思いがこみ上げてきます。「もう十分生きたね。これまで本当にご苦労さまでした」と、素直な気持ちで見送る心の準備が整い始めます。やがて全てのスイッチが切れ、本当に眠るように旅立ちました。こんなにも人は安らかに旅立つものかと、あまりの静かな旅立ちにいのちの仕組みの素晴らしさと美しさを感じました。「苦労様でした。もう十分です。おかげで一人前に仕事ができるようになりました。今日までありがとう…」これ以外の思いはありませんでした。この時を迎えるまでにすべてが思い通りだった訳ではありません。それでも最期はとても豊かな時間になりました。「人のさいご」を知っておくことは、看取る側、旅立つ側のいずれにも大切なことだと思いました。

父は、私の人生で追究している大きなテーマの一つに答えを与えてくれたように思います。父と、「人のさいご」に感謝しています。お陰でまた一つ成長させていただきました。貴重な経験によって得た気づきと学びを、人生の糧にして歩んでいこうと思う今日この頃です。

上で大切なのは、がんばることでもこだわることでもありません。これらは力みを生み、脳の働きは低下し、意識は不自由になります。得られるはずの成果すら手に入れることができなくなります。大切なのは余計な力を抜き、能力の発揮を阻害する要素を開放することです。この状態になるとスムーズにモノゴトが運び、驚くほどの成果を上げられるようになります。リラックスを伴う高い集中状態で驚きの能力を発揮する「ゾーン」や「フロー」と呼ばれる現象と共に通する状態です。この感覚が身につくと、力みや不自然さを違和感として認識できるようになるので、マイナスのスパイラルに陥ることが無くなります。自ずと目の前の現象に変化が現れ、それまでのネガティブな現象が徐々に消えていき、人生が大きく変化していきます。

「シンリセット」は、ストレス過多の社会をより快適に、より良く生きるために新次元のサプリメントとしてリリースしました。本来の自分を取り戻し、自分らしく、ありのままに、元気よく毎日を送るためにお役立ていただけたら幸いです。

### ■よろこびの声がいっぱい！ 「シンリセット」編

・更年期のせいか眠れない日がありましたが、ぐっすり眠れるようになりました。・新生活の準備で精神的に落ち着かず、食べたものを吐いていましたが、それが無くなつて夜も眠れています。・夜中に咳が出て目が覚めてしまう日々でしたが、6粒にしたら朝まで眠れるようになりました。・朝に飲むと日中の疲れ方が全然違います。頭もすっきりしていて、仕事がとてもスムーズです。・色々考えてしまうタイプですが、これでOKと自分を許せるようになりました。・生理前の気持ちの落ち込みがラクになって明るい気持ちで過ごせています。・こちらを飲むようになってから、声を出して笑うことが増えました。・何をしても続かない私でしたが、ストレッチを毎日するようになりました。

今月は私の個人的な体験について書かせていただきました。人は必ず、いつか人生の幕を閉じます。その確率は100%です。その時は突然やつてくるかも知れません。老いと共にながらに迎えるかも知れません。私は大きな病や悩みを抱えていない限り、日ごろ死を意識することはあまり無いでしょう。ラテン語の成句で「メント・モリ」があります。死を忘れるなけれどという意味です。私は四十代のある時を境に、死を意識するようになりましたので、この言葉の大切さが良く分かれます。

人のさいご

感動のおすそ分け



人のさいご

医療法人社団プラタナス 桜新町アーバンクリニック



人のさいご

今月の1冊

感動のおすそ分けで取り上げたのがこちらの冊子。看取りの場で人々に寄り添い続けている在宅医療ケア関係者が、知識と経験をもとに、人のさいごに訪れる道すじを伝える内容です。具体的には「人のさいご、自然な経過」「家族って誰のこと?」「急な変化を感じる」「自分自身のことに集中していく」「食べること、飲むこと」「夢と現実が混ざりあう」「耳は聴こえている」「息づかいが変わっていく」「お別れのとき」「旅立ちのあとで」など。この冊子は看取りの現場で「人は死ぬ時にどう変化していくのか」と聞かれてきた経験から生まれたそうです。読んだ方は「もっと早く、子どものうちからでも読んでいた方がいい」と言われるそうです。「読むのが怖いな」と思ったら、そばにいる信頼できる人に代わりに読んでおいてもらうのもよいでしょう。人生の締めくくりを大切な人と過ごす、かけがえのないものにするためにもお読みいただきたい一冊です。

[HP] 人のさいご <https://hito-no-saigo.studio.site/> ← こちらからお買い求めいただけます。

